

# 安全報告書 2017



丹鉄フォトコンテスト 応募作品

京都丹後鉄道

WILLER **W** TRAINS

## はじめに

平素は京都丹後鉄道をご利用いただき、誠にありがとうございます。昨年度は『地域で1番の信頼を得る』のスローガンのもと、全社一丸となり輸送の安全確保に取り組んでまいりました。重大な事故の発生はありませんでしたが、二度の台風により鉄道施設に大きな被害が発生したばかりでなく、冬期には大雪による輸送障害も発生し、この間お客様・沿線の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。あらためてお詫び申し上げます。

安全はすべてに優先し経営の最も重要な課題と位置づけ、安全最優先の意識・風土の確立に向けて、全社一丸となって取り組んでいるところです。本年度も北近畿タンゴ鉄道様と十分な連携を図り、安全体制の強化・構築を図るため、ハード・ソフト両面にわたり更なる安全性の向上に取り組み、信頼される鉄道をめざしてまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、安全・安定輸送の確保のための取り組みや鉄道運転事故、輸送障害等の発生状況と、事故防止対策などの安全確保の取り組みを皆さまにご報告するものです。ご一読いただき、ご助言、ご意見をいただくとともに、末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



WILLER TRAINS 株式会社  
代表取締役 寒竹 聖一

# ○ 安全に関する基本方針と目標・重点実施施策

輸送の安全確保が最大の使命との意識を持ち、「安全方針」「行動規範」を掲げ、社長、役員及び社員一丸となり輸送の安全確保に取り組みます。

## 1. 安全方針

私たちは法令・規程を遵守し、輸送の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指して、継続的な改善に努め、安全で安定した輸送を提供し、お客様に安心・信頼される鉄道を築きあげます。

## 2. 行動規範

社長、役員及び社員の行動指針として「安全に係る行動規範」を定め、規範に基づき行動します。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解すると共に、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故、事故の恐れのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある事態が発生したときは、人命救助を最も優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

## 3. 2018(平成30)年度安全目標

安全方針に基づき具体的な安全目標を定め、各部門において事故等の発生「ゼロ」に取り組みます。

### 責任事故・インシデント「ゼロ」の継続

※当社の責任(ヒューマンエラー・設備保守・管理に起因する事象)による鉄道運転事故・インシデント「ゼロ」の継続

## 4. 2018(平成30)年度 重点実施施策

平成30年度の重点実施施策を掲げ、安全目標の達成に向けて取り組みます。

## [1] ハード面の取り組み

国、京都府、兵庫県、沿線自治体からの支援を得て、北近畿タンゴ鉄道株式会社が行う設備投資の設計及び施工管理等を受託して、施設・車両の整備や踏切事故防止対策として踏切保安設備の整備等を図り保安度向上・安全性の向上をはかります。

### [設備投資]

設備	項目	具体的実施内容
信号	電気転てつ器更新	京丹後大宮、網野、小天橋、久美浜 4駅14組
	踏切保安設備更新・障害物検知装置新設	峰山踏切 1箇所
防護	道路側溝改良(伏び)	網野～夕日ヶ浦木津温泉駅間 3箇所
停車場	列車接近表示装置新設	荒河かしの木台 喜多、かぶと山 3駅
線路	レール交換(40N→50N)	久美浜～コウノトリの郷駅間(1,043m)
	コンクリートマクラギ化	小天橋～かぶと山間 349本
電路	木柱のコンクリート柱化	網野～小天橋間 40本
車両	車両設備	特急用エンジン、変速機購入 各3基 普通用エンジン・変速機購入 各1基
	車両更新	新MF車両購入 1両

## [2] ソフト面の取り組み

- 安全文化の構築
- 運転関係係員の知識・技能の向上
- 鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底
- さらなる安全性向上の追及
- 労働災害防止の意識の向上

## ○平成29年度運転事故等の発生状況

### 1. 鉄道運転事故

平成29年度は、ミニバイクの踏切(遮断機、警報機付)の無謀横断による踏切障害事故が1件発生しました。

### 2. 輸送障害

47件発生しました。うち、自然災害等による事象は35件、鉄道外の原因(列車妨害等)となる事象が3件、設備故障の原因となる事象が9件発生しました。ご利用のお客様はじめ沿線の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

### 3. インシデント

インシデントの発生はありませんでした。

### 4. 行政指導等

行政指導等はありません。

## ○平成29年度「安全確保の取り組み」

平成29年度はハード面の対策を実施し設備の新設・更新をしました。また、ソフト面においては、

- (1)安全文化の構築
- (2)運転関係係員の知識・技能の向上
- (3)鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底
- (4)さらなる安全性向上の追及
- (5)労働災害防止の意識の向上

を中心に取り組みました。

### 1. ハード面の取り組み状況

地上設備・車両設備について、北近畿タンゴ鉄道株式会社から設計及び施工管理等を受託し、故障対策・老朽化対策として新設、更新等を行い安全性の向上をはかりました。

[設備投資]

設 備	項 目	具体的実施内容
信 号	信号LED化	京丹後大宮・久美浜・宮村・大江山口内宮34基
	電気転てつ器更新	峰山駅6組
	踏切保安設備更新・障害物検知装置新設	文珠踏切 1ヶ所
通 信	列車無線設備更新	宮津線、宮福線 地上局 6局
防 護	法面改良整備	四所～コウノトリの郷駅間 3箇所
	雨量計更新	宮津線 8箇所 宮福線
	落石止柵新設	東雲～丹後神崎駅間
停車場	こ線橋改築	宮津駅
	列車接近表示新設	牧、下天津、公庄 3駅
線 路	レール交換(50T→50N)	夕日ヶ浦木津温泉～小天橋駅間(499.8m)
	合成マクラギ化(橋マクラギ)	西舞鶴～コウノトリの郷駅間 251本
	コンクリートマクラギ化	天橋立～岩滝口駅間 551本
	トンネル改良	コウノトリの郷～豊岡駅間 愛宕山T
電 路	木柱のコンクリート柱化	夕日が浦木津温泉～小天橋駅間 54本
車 両	車両設備	特急用エンジン、変速機購入 各2基
	ディスカバリーリニューアル	「丹後の海」への改造 1編成2両
その他	構造物検査車更新	軌陸車 1台

## [ 安全性の向上 ]

### 法面改良整備

宮津線の法面3ヶ所(四所～東雲駅間1ヶ所、久美浜～こうのこのりの郷駅間2ヶ所)を改良し安全性の向上をはかりました。

(四所～東雲駅間)

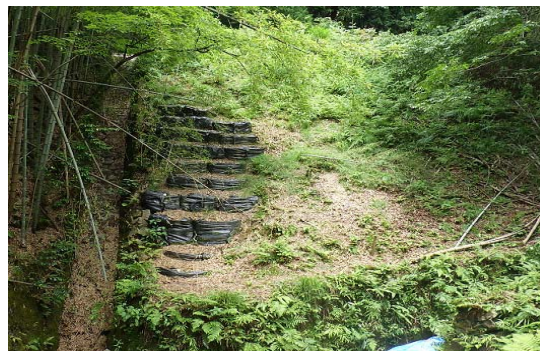


[改良前]



[改良後]

(久美浜～こうのこのりの郷駅間)



### 落石止柵新設

東雲～丹後神崎駅間の落石の危険性のある箇所に、新たに柵を新設し安全性の向上をはかりました。

[新設前]



[新設後]



## 列車接近表示器新設

牧、下天津、公庄の無人駅に列車接近表示器を新設し、ホームでお待ちのお客様に列車接近の案内放送・警報を発生して注意喚起をはかり、触車事故防止等安全性の向上をはかりました。 これまでに無人駅17駅の内15駅に設置しました。



## 踏切事故防止対策

多くの観光客が利用される文珠踏切(天橋立)の安全性向上に向けて、老朽化した保安設備を更新し、360° 視認性を向上した警報灯への更新や、踏切障害物検知装置の新設をしました。



[改修前]



[改修後]





## 軌陸車の更新

老朽化した軌陸車を更新し、施設・電気保全作業の安全性・作業能率等の向上をはかりました。



[更新前]



[更新後]



## [お客様サービスの向上]

### こせん橋の改良

宮津駅のこせん橋の老朽化に伴い、こせん橋やホーム上屋を改善し安全で快適にご利用いただけるように整備するとともに、防犯対策として、新たに防犯カメラを設置しました。



[改修前]



[改修後]



[駅事務室モニター画面]



[通路・コンコース等にカメラを設置]



## 2. ソフト面の取り組み状況

### [安全文化の構築]

#### ○安全意識の向上

安全方針、行動規範及び各系統における禁止事項を記載したカード作成し、社員一人ひとりに配布、常に携帯するとともに、本社や各駅・現場事務所等に安全方針・行動規範を掲出し、点呼等の場で唱和し、安全意識の向上に努めています。



携帯カード



安全方針・行動規範

#### [駅点呼時の唱和]



#### [乗務点呼時の唱和]



#### ○発生事象の共有化と対策の検討周知

発生した事象の確実な報告の定着化並びに共有化を図り、対策等については本社・現場間で連携して検討・実施するほか、安全対策委員会(毎月開催)においても検討・周知をしています。

1 事故種別	2 発生日時	平成	年	月	日	時	分	3 発生場所	4 列車	5 原因	6 概況	7 被害者数	8 関係者
部内その他(基簿外)	宮津駅	豊岡線	豊岡駅	1688D 列車	1	豊岡 発	久美浜 行	豊岡 駅	4 両	乗客 18 名	機関車 KTR 8013・8014・8015・8016	1	久美浜 行
<p>6 概況 第 1688D 列車運転士は、豊岡駅 237DC(6-47)号機後、入信・誘導で宮津乗降から宮津番線へ乗降開始後、エンド交換の乗降 NFB「入」を失念し、切替 SW を「後」位置としたため機関停止となったが、機関内が動し、豊岡駅を定発した。発車後に運転士、車掌共に室内灯・空調・号車番号が消灯している事に気付かず、車掌が室内灯 SW を扱う右室内灯は点灯しなかった。久美浜駅着後にその旨を宮津運転指令に報告した。</p> <p>一方、報告を受けた宮津運転指令は車両の機関・蓄電池を「切」「入」し再起動を行うように指示、その後室内灯・空調・号車番号が正常に復旧したとの連絡を受けたため運転再開を指示、5088D は久美浜駅を6分遅延となった。付記 1号車・3号車・4号車の室内灯が消灯し、2号車のみ点灯。号車番号の誤表示・消灯を車掌が確認(共にパンタグラフ「切」再起動後は正常に復旧)</p> <p>久美浜までの旅客が3名乗車していたが、室内灯が点灯している2号車に移動、ご乗車いただきました。</p>													

#### (報告等からの対策事例)

##### ・出区点検時の触車事故防止

駅留置車両の運転前の点検実施中、隣接線に列車が入線してきた場合に触車事故を防止するため、隣接線との接触限界を明確にするため線間にロープを設置しました。宮津駅、天橋立駅設置済 豊岡駅(設置予定)

[宮津駅]



[天橋立駅]



・車両乗降時の労働災害防止

福知山運転所での車両の入出区・入換作業時において、運転台へ乗り込む際に転落等のリスクがあることから、社員自ら労働災害防止対策として乗降台を作成し設置しました。(3ヶ所)



○「安全の日」の取り組み

「安全の日」を定め安全を意識する、考える、点検するなどの行動や、本社幹部・現場社員との双方向のコミュニケーションを深めるディスカッション等を行い、安全意識の向上をはかっています。

[主な取組内容]

- ・「安全の日」看板掲出



- ・本社幹部と現場社員の意見交換会、
- ・列車添乗、現場巡回、作業立会
- ・本社、現場の情報の共有化等
- ・職場の環境整備、整理整頓、点検等



[ 工務関係社員との  
意見交換会 ]



[ 運転指令員との  
意見交換会 ]

また、多客期間(夏季、年末年始)等には、社長をはじめ安全統括管理者および役員等が現場を巡回し、安全管理の把握に努めるとともに現場社員とのコミュニケーションをはかり、運行の安全確保を確認しています

[役員等による巡回]



## [運転関係員の知識・技能の向上]

### ○定期的な訓練・勉強会の充実と確実な実施

若手、経験の浅い社員が増加する中、法に定める訓練等のほか、各系統における勉強会・技能教育等を実施し、知識・技能の向上、技術継承に努めています。

(乗務員関係) 年間の教育・指導訓練計画を策定し、計画的に机上教育・現車実習・知悉度テスト等を実施し、知識・技能の向上に努めています。

平成29年度 教育・指導訓練計画			
合同 教育・訓練項目		運転士 (12時間以上)	車掌 (12時間以上)
月	訓練項目	月	訓練項目
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法令遵守の重要性 (係員の教育、訓練等) ※運転の安全の確保に関する省令と実施基準</li> <li>○指正文書の再徹底</li> <li>○安全情報等のディスカッション</li> <li>○知しつ度テスト</li> </ul>	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法令遵守の重要性 (係員の教育、訓練等)</li> <li>○指正文書の再徹底</li> <li>○接客、サービス (冷房装置の取扱い全般)</li> <li>○安全情報等のディスカッション</li> <li>○知しつ度テスト</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象異常時の運転取扱い (雨規制・風規制)</li> <li>○列車火災・トンネル火災発生時の運転取扱い</li> <li>○非常プザー鳴動時の取扱い</li> <li>○基本動作の重要性 (基本喚呼方)</li> <li>○安全情報等のディスカッション</li> <li>○知しつ度テスト</li> </ul>	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気象異常時の運転取扱い (雨規制・風規制)</li> <li>○列車火災・トンネル火災発生時の運転取扱い</li> <li>○非常プザー鳴動時の取扱い</li> <li>○基本動作の重要性 (基本喚呼方)</li> <li>○車内急病人発生時の取扱い</li> <li>○安全情報等のディスカッション</li> <li>○知しつ度テスト</li> </ul>



(駅運転関係) 年間の教育・指導訓練計画を策定し、計画的に机上教育・現車実習・知悉度テスト等を実施し、知識・技能の向上に努めています。

平成29年度運転関係訓練計画			駅運転
実施項目	実施項目	対象者	実施日
安全教育(机上・現車)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本動作・基本作業(DVD視聴)</li> <li>○信号実習使用方</li> <li>○冬季安全確保</li> </ul>	全社員	4月24日 4月25日
気動車についての基礎教育 車両教育(机上) 実車運転訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動信号機の取扱い</li> <li>○空気ホースの取扱い</li> <li>○ホコ・ジャンパーの取扱い</li> <li>○ブレーキ試験の確認方</li> <li>○車両教育</li> </ul>	若手員 新入社員	5月25日 5月26日
災害時における取扱い(机上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時運転取扱い手続の周知徹底</li> <li>○強風時における取扱い</li> <li>○降雪時における取扱い</li> <li>○地震発生時における取扱い</li> <li>○気象発生時における運転報告の取扱い</li> </ul>	若手員	6月3日 6月4日

### ・平成29年7月異常時等の列車取扱い等の訓練実施



場内代用手信号の取扱



手回しハンドルによる進路構成等



### ・平成29年12月に駅社員のための除雪教育を実施



触車事故防止要領等机上教育



ポイント除雪方の実習



除雪機械等の使用方説明

(工務関係) 年間の教育・指導訓練計画を策定し、計画的に机上教育・現車実習・知悉度テスト等を実施し、知識・技能の向上に努めています。

対象者	教育内容	時間数(標準)	教育の方法	教育者	予定教育時間	4月	5月	6月	7月
(1)ーア 新任社員、転入社員 (他職種)	・運転に関する規程類 ・異常時の処置方(災害時の運転規制等) ・列車ダイヤの見方 ・触車事故防止要領 ・列車防護訓練その他	4時間以上	机上及び現地	助役等	必要の都度	▶			
(1)ーイ 新たに監督業務に従事する社員 (線路閉鎖工事)	・線路閉鎖工事に関する規程 ・トローリー使用に関する規程 ・事故防止に関する事項 ・監督業務の見習	3時間							
(保守用車使用)	・上記の線路閉鎖工事に関する内容 ・保守用車使用に関する規程 ・駅等との打合せ要領 ・合図方法 ・故障時の取扱い訓練 ・線路見習 ・監督業務の見習	3時間							
(2) 転入社員(IR/Q0B)	・その他必要事項	1時間							

・平成29年5月現場での線路修繕等の実技教育(犬クギ作業)



・平成29年4月保守用車監督業務・保守用車転線作業実技教育



関係箇所打合



作業着手連絡



線路閉鎖取扱



保守用車進路確認



車止め解除



ポイント転換・保守用車転線

・平成29年8月工務社員の異常時における各機器の取扱訓練



列車防護訓練



電気転てつ器手動転換訓練



踏切支障報知装置取扱訓練



## ○異常時対応訓練等の実施

各系統での異常時の対応能力の向上を目的に異常時訓練を実施し、知識・技能・技術力の向上を図るほか、系統間・会社間の連携のもと異常時対応訓練を実施しています。

### [伝令法施行訓練]

- ・実施日：平成29年12月12日 10:00～
- ・参加者：本社、宮津駅運転指令、西舞鶴運転所当直、西舞鶴・福知山・豊岡各運転所乗務員
- ・実施区間：宮舞線（西舞鶴～四所駅間）

※伝令法（でんれいほう）とは：列車の存在する閉そく区間に別の列車を運転させ、故障列車を救援する場合に施行する方法。

### [開会式]



### [救援列車の到着]



### [故障列車と救援列車の併結作業]



### [併発事故防止（列車防護）訓練]

JR山陰線と京都丹後鉄道宮福線が併走する丹鉄荒河かしの木台～福知山市民病院口駅間で、事故が発生した場合の併発事故防止のための列車防護訓練を、JR西日本福知山支社様と合同で実施しました。

- ・実施日：平成29年8月26日（土） 0:35～
- ・参加者：[JR西日本福知山支社] 総勢約25名  
支社長等支社社員及び運輸指令、各運転関係社員（運転士、車掌）  
[京都丹後鉄道] 総勢約25名  
社長等本社社員及び運輸指令、各運転所関係社員（運転士、車掌）
- ・実施区間：JR山陰本線（上川口～福知山）京都丹後鉄道宮福線（荒河かしの木台～福知山市民病院口駅間）の併走区間

※列車防護とは：事故が発生し、後続または前方からの列車によって併発事故の危険があるときは、緊急に関連の列車を停止させなければなりません。そのための措置を列車防護といいます。

### [開会式]



### [訓練開始：左側丹鉄車両 右側JR車両]



[丹鉄実施の列車防護（JR山陰線の防護）]



[JR実施の列車防護（宮福線の防護）]



[JR車両 車両用信号炎管点火]



### ○人材の育成

・事業継続を支える新規・中途採用

高齢化した社員の退職等に伴い、地元出身者の雇用拡大を図り、安定的な事業継続のために積極的に新規・中途採用を行っています。



WILLER TRAINS(株)入社式



WILLERグループ入社式

系 統	運輸系統 (駅・車掌・運転士)	車両	施設	その他	合計
平成29年度採用人員	11	2	2	2	17

・部外教育機関の積極的な活用

各系統において若手社員、経験の浅い社員に対する教育について、部外の専門的な教育を受講することで知識・技能の向上をはかっています。

・平成28年度部外講習受講(鉄道総研、電気協会、運転協会等)

項 目	運輸系統	施設系統	電気系統	車両系統	計	
平成29年度	受講講座数	5	1	8	1	15
	受講人員	20	2	8	4	34

・業務運営を支える資格者の育成

継続的かつ安定的に業務を遂行していくために、各系統においては業務に必要な資格取得を継続するとともに、世代交代に向けて運転士養成等運輸関係運転関係資格教育を行っています。

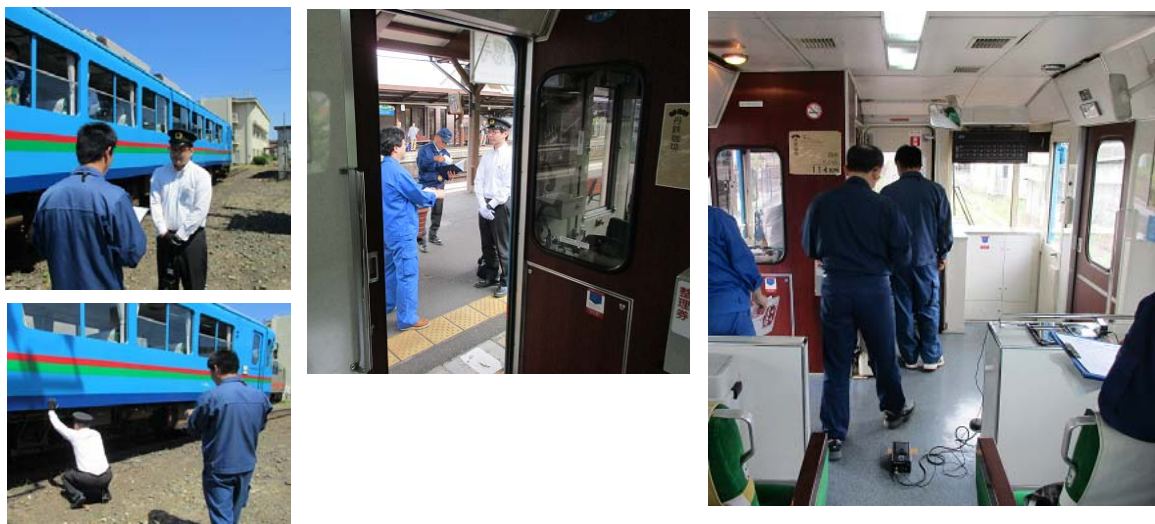
・平成29年度に実施した資格者養成数

	運転士(DC)	運転士(EC)	車 掌	指令員等	計
平成29年度	8	2	7	2	19

## ・運転士養成

輸送の安全確保のために運転士は重要な役割を担っており、列車を操縦するには国家資格である「動力車操縦者運転免許」を取得する必要があります。毎年計画的に運転士養成を当社の指導者により、3ヶ月の学科教育、その後当社線での技能教育を行い、国土交通省の運転免許試験に合格後、運転士として乗務をすることとなっています。

### [運輸局技能試験受験]



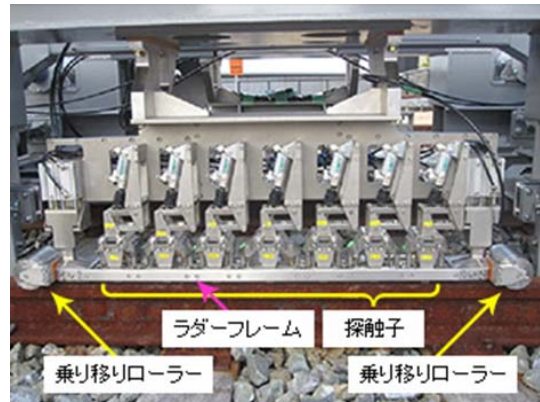
## [鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底]

線路設備・電気設備に対して、検測車等による設備データを収集・分析し、不具合箇所等の修繕を行い、安全の確保に努めています。

### ○レール探傷車によるレール探傷検査(4年毎)

レール探傷車による検査は、JR西日本様所有の車両により、レールに発生した傷によるレール折損を防止するため、超音波を用いたレール探傷検査を、当社管内全線において実施しています。

[H29. 8. 22~H29. 8. 25 終列車運転終了後、翌朝の始発列車運転までの間に検測]



### ○高速軌道検測車による軌道狂い検査(4回/年)

高速軌道検測車による検査は、JR西日本様所有の車両により、線路の軌間・高低・水準・通り・平面性・上下左右動を当社管内全線において検測しています。





## ○電気検測車による架線検測(3回/年)

電気検測車による検査は、JR西日本様所有の車両により、架線の高さや磨耗状況、偏位、離線状態、集電状況などのデータ収集のため、電化区間(福知山～天橋立駅間)において検測をしています。



## [さらなる安全性向上の追及]

### ○事故等の分析、安全対策に活用できる機器導入の検討(ドライブレコーダー導入検討)

車両前方部と運転席計器類を撮影するカメラを設置して映像を記録する機能のみ使用することで、事故時の状況や車両の故障予防整備に活用することを検討しています。

#### 【接続テストの状況】

- (1)実施日:平成29年12月27日
- (2)実施場所:西舞鶴運転所 留置線内
- (3)車両:KTR8000系
- (4)実施概要:備え付けの列車無線用の電源から分岐させドラレコに接続(12VDC)、モニターは掃除用電源より取得(100VAC)。1時間程度接続して画像を記録、運転所内を走行して画像の記録の問題点の確認今後、対向列車や信号の視認性、標識等の視認性の確認等を検証予定



## [その他]

### ○合同鉄道事故対応訓練

踏切で自動車と列車が衝突し多数の死傷者が発生したとの想定による地元消防署、警察署、JR西日本西舞鶴駅様との鉄道事故対応訓練を実施し、重大事故に備え初動体制や対処能力の向上をはかりました。

- ・ 開催日 平成29年9月8日 10:00～
- ・ 開催場所 京都丹後鉄道 西舞鶴運転所構内
- ・ 参加機関等 京都府警、舞鶴警察署 警察車両 3台 参加人員 約15名  
舞鶴消防署消防車両3台 救急車 2台 参加人員 約25名  
JR西日本 西舞鶴駅 約10名  
京都丹後鉄道 約40名



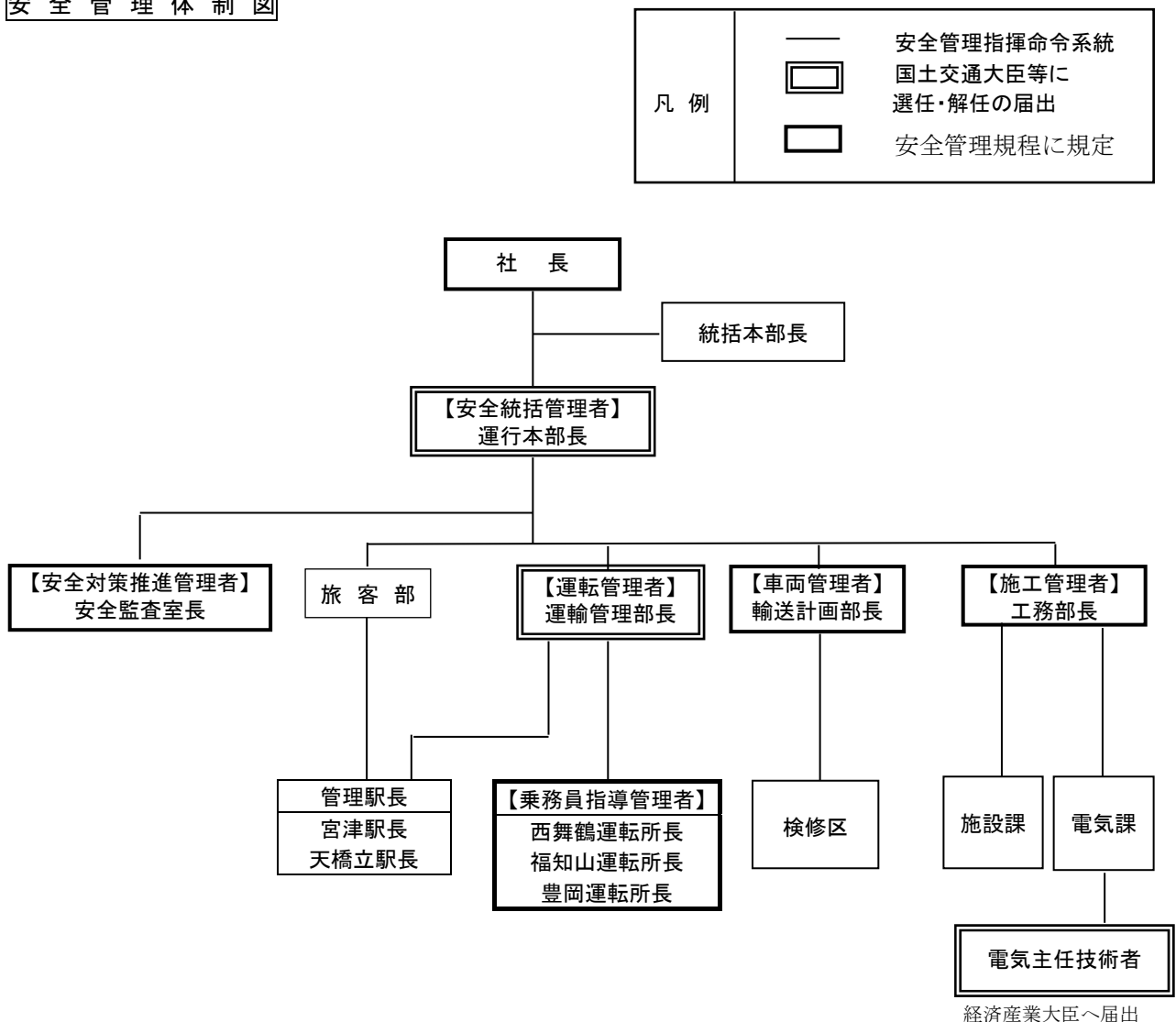
# ○安全管理体制整備等、安全の取り組み

## [安全管理体制]

安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築しています。安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者を選任し、その責務を明確にしています。

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮のもと、列車の運行管理、乗務員の育成及び資質の維持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮のもと、乗務員の資質の維持を管理する。
施工管理者	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設を維持管理するため、施設業務を管理する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮のもと、車両を維持管理するため、車両業務を管理する。
安全対策推進管理者	事故防止に関する事項、輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

安全管理体制図



## 安全に関する会議

### ・安全対策委員会

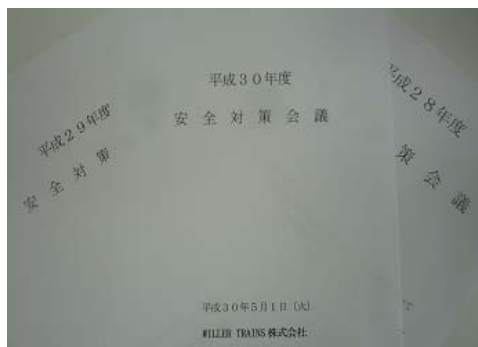
安全統括管理者を委員長として、各系統の責任者・現場長等が出席し、安全輸送に関するデータをもとに、鉄道運転事故等の未然防止策、再発防止策等の安全対策について意見交換、情報の共有化等をはかっています。



- ・開催日 毎月1回を基本に必要な都度
- ・出席者 社長、本社内各部長・関係課長、各現場長
- ・議題 運転事故等発生件数、発生内容  
発生事象の原因究明・対策の水平展開等  
「事故の芽」等その他事象の水平展開等  
労働災害発生状況  
運輸局事故報告水平展開(事例研究)等

### ・安全対策会議

社長を議長として、安全管理規程に定める安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者、電気主任技術者等により、運転並びに労働災害事故の防止について協議し安全性の向上をはかっています。



- ・開催日 毎年1回を基本に必要な都度
- ・出席者 社長以下安全管理規程に定める管理者及び各現場長
- ・議題 前年度の輸送に関する目標・取り組み状況  
前年度安全管理体制に係わる内部監査結果等の確認  
次年度の目標・重点実施施策の決定  
等

### ・他会社(JR、協力会社等)の事故防止会議・合同会議等への参加

他会社等との事故防止、安全対策の情報共有化等で連携を図り事故防止に努めています。

- 〔車両関係〕 JR西日本 福知山支社品質向上推進会議
- 〔電気関係〕 JR・KTR・丹鉄電気関係合同事故防止会議  
協力会社の安全会議 等



- ・JR・KTR・丹鉄電気関係合同事故防止会議
- ・開催場所 丹鉄宮津駅多目的ホール
- ・開催日 平成29年7月7日(金)
- ・議題 事件事例検討  
保全・工事の会社間情報共有  
作業・工事時の連絡体制 等  
協定等について

## ・安全評価外部委員会

鉄道輸送や設備管理等について、安全対策の更なる充実のため鉄道安全分野において高い技術力や見識を有する外部専門家による評価委員会を設置し、評価・指導・助言をいただく体制を構築し、いただいたご助言等は安全性向上の施策に反映できるように取り組んでいます。

(委員会メンバーの方々)

委員長	東京大学 生産技術研究所	須田教授
委員	立教大学 現代心理学部	芳賀教授
	京都大学 防災研究所	中川教授
	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	水間特認教授
	鉄道総合研究所車両制御技術研究部	小笠主管研究員

平成29年度安全評価外部委員会を開催しました。

### 第5回 安全評価外部委員会

- ・開催日  
平成29年7月24日
- ・議 題  
平成29年度目標・重点実施施策について  
平成29年度6月末現在の運転事故等発生状況について  
新車導入について  
ドラレコの進捗状況について  
車両修繕データベース化について



### 第6回 安全評価外部委員会

- ・開催日  
平成30年3月12日
- ・議 題  
平成29年度運転事故等発生状況について  
第5回安全評価外部委員会の振り返り・進捗報告  
新車導入に導入について  
ドラレコの進捗状況  
車両修繕データベース化  
平成30年度目標・重点実施施策について  
災害に対する鉄道施設の安全・今後の施設管理について  
獣害対策について



## お客様・沿線の皆さま・関係機関との連携

- ・踏切事故防止キャンペーン春、秋の全国交通安全運動、踏切事故防止キャンペーンの実施に併せて、パンフレット等を駅をご利用のお客様や、踏切を横断されるドライバーの皆さんにお渡しし、踏切の安全横断について呼びかける運動を展開しています。



パンフレット



駅での配布



踏切道での配布

- ・「こども110番の駅」の取り組み不審者から地域のこどもの安全を守り、子供達が安心して暮らせる取組として、日本民営鉄道協会と連携し、「こども110番の駅」を実施しています。
- 「こども110番の駅」では、目印となるステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めてきた場合に、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。



駅改札口付近等に配置



- ・地域の中学校生徒による職場体験学習を通じて、地域の子供たちに鉄道に対する理解促進・安全の啓発活動等を行っています。



## その他

- ・「運転無事故表彰」受賞  
平成29年10月5日 平成29年度鉄道関係近畿運輸局長表彰式において、運転責任事故ゼロはもちろんのこと日々安全について真摯に取り組んできた行動が評価され、会社発足後初めて「運転無事故表彰」を受賞しました



- ・「EST 交通環境大賞 国土交通大臣賞」受賞  
地域の交通環境対策に関する取組・功績について表彰されました。  
交通環境の改善・貨客混載輸送  
観光列車の整備や地域と連携した周遊ルートの開発 など



### 安全報告書へのご意見の募集

安全報告書の内容や弊社の取り組みについて、下記までご意見をお寄せください。

ご連絡先    本社 安全監査室電話  
0772-22-8571

FAX    0772-25-2380

メールアドレス    [otoiawase@willer.co.jp](mailto:otoiawase@willer.co.jp)

受付時間    月～金 9:00～18:00(祝日を除く)